

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成30年4月26日(2018.4.26)

【公表番号】特表2017-514244(P2017-514244A)

【公表日】平成29年6月1日(2017.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2017-020

【出願番号】特願2016-575631(P2016-575631)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/048 (2013.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/048

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月12日(2018.3.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンピューティング・システムにおいて、

前記コンピューティング・システムは、アプリケーション・フレームワークを実行する
プロセッサ実行可能命令で構成されたプロセッサを備え、

前記アプリケーション・フレームワークは、

前記コンピューティング・システム上で実行可能なアプリケーション・ユーザ・インタ
フェースを備え、前記アプリケーション・ユーザ・インタフェースは、焦点を定めている
インタフェース表示領域および複数のインタフェース要素を有し、各インタフェース要素
は、各インタフェース要素のための実行状態を定めている、関連付けられたワークフロー
定義を有するように構成され、

前記ワークフロー定義は、少なくとも 1 つの第 1 のインタフェース要素のために、アク
ティブ前状態とアクティブ状態とアクティブ後状態とを定め、

前記アクティブ前状態は、前記アプリケーション表示領域内の、第 1 のサイズおよび
形状の第 1 のインタフェース要素表示を有し、前記第 1 のインタフェース要素表示は、ア
クティブ前状態表示データを表示するように構成され、

前記アクティブ状態は、前記アプリケーション表示領域内の、第 2 のサイズおよび形
状の第 2 のインタフェース要素表示を有し、前記第 2 のインタフェース要素表示は、(i)
前記第 2 のサイズおよび形状に変形し、前記アクティブ前状態から前記アクティブ状態
に移行するときに表示するように構成され、(i i) 入力データを受け取るように構成さ
れる入力制御を表示するように構成され、前記第 1 のインタフェース要素は、第 2 のイン
タフェース要素にリンクされ、前記第 2 のインタフェース要素の以前に受け取られた入力
データは、前記入力制御によって表示され、前記入力制御は、前記アクティブ前状態の間
、見えておらず、

前記アクティブ後状態は、前記アプリケーション表示領域内の、前記第 1 のサイズお
よび形状の第 3 のインタフェース要素表示を有し、前記第 3 のインタフェース要素表示は
、(i) 前記アクティブ状態の間、受け取られる前記入力データの少なくとも一部を含む
アクティブ後状態表示データを表示するように構成され、(i i) 前記アクティブ状態か
ら前記アクティブ後状態に移行するときに、前記第 1 のサイズおよび形状に変形するよう
に構成され、前記入力制御は、前記アクティブ後状態の間、見えておらず、

前記各インタフェース要素は、前記ワークフロー定義に従って、前記インタフェース要素の1つの選択に基づいて、前記アクティブ前状態から前記アクティブ状態に移行するように構成され、

前記各インタフェース要素は、前記インタフェース要素が前記アクティブ前状態から前記アクティブ状態に移行するとき、前記インタフェース表示領域内の前記焦点に移行するように構成される、

コンピューティング・システム。

【請求項2】

少なくとも1つの機能は、前記入力制御によって受け取られる入力データに基づいて実行されるように構成される前記アクティブ状態に関連付けられている、

請求項1に記載のコンピューティング・システム。

【請求項3】

前記少なくとも1つのインタフェース要素の少なくとも1つの前記アクティブ状態は、2以上のアクティブ状態層を有する、

請求項1に記載のコンピューティング・システム。

【請求項4】

前記入力制御は、テキスト入力、ドロップ・ダウン・リストおよびスライダ入力のうちの1つである、

請求項1に記載のコンピューティング・システム。

【請求項5】

複数のインタフェース要素は、前記複数のインタフェース要素が前記アクティブ状態から前記アクティブ後状態に移行するとき、前記インタフェース表示領域内の前記焦点から非焦点に移行するように構成される、

請求項1に記載のコンピューティング・システム。

【請求項6】

前記第1のインタフェース要素表示および前記第3のインタフェース要素表示は、同一サイズである、

請求項1に記載のコンピューティング・システム。

【請求項7】

第2の選択表示領域は、前記第1のインタフェース要素表示および前記第3のインタフェース要素表示より大きい、

請求項1に記載のコンピューティング・システム。

【請求項8】

前記少なくとも1つのインタフェース要素は、状態間に移行するとき、前記インタフェース表示領域内に制限されるように構成される、

請求項1に記載のコンピューティング・システム。

【請求項9】

アプリケーション・フレームワークにおけるユーザ入力を処理するためのコンピュータ実装方法において、前記方法は、

複数のインタフェース要素のための動作状態を定めているワークフロー定義を取得するステップと、

前記複数のインタフェース要素を、ユーザ・インタフェースのアプリケーション・インタフェース表示に表示するステップであって、前記複数のインタフェース要素の各々は、少なくとも1つの表示特性を有するとともに第1の表示データを表示するステップと、

前記複数のインタフェース要素の1つを選択するための入力を受け取るステップであって、以前に選択されたインタフェース要素は、前記選択されたインタフェース要素の選択前に第1の入力を受け取ったステップと、

前記選択されたインタフェース要素の少なくとも1つの表示特性を変更し、前記ワークフロー定義に従って、少なくとも1つの入力制御を表示するステップであって、前記少なくとも1つの入力制御は、前記インタフェース要素の選択前に見えていないステップと、

前記ワークフロー定義に従って、前記アプリケーション・インタフェース表示内の焦点に実質的に整列配置するように、前記選択されたインタフェース要素を位置決めするステップと、

前記以前に選択されたインタフェース要素から受け取られる前記第 1 の入力の少なくとも一部を、前記アプリケーション・インタフェース表示領域内で、前記アプリケーション・インタフェース表示領域内で現在アクティブな前記選択されたインタフェース要素とともに表示するステップと、

前記少なくとも 1 つの入力制御に対する入力データを受け取るステップと、

ワークフロー定義に従って、前記入力制御によって受け取られた前記入力データに関連付けられた少なくとも 1 つの機能を実行するステップと、

前記選択されたインタフェース要素が (i) 前記第 1 の表示データを修正し、前記受け取られた入力データの少なくとも一部を表示し、 (i i) 前記少なくとも 1 つの入力制御を隠すように、前記選択されたインタフェース要素に関連付けられた少なくとも 1 つの表示特性を変更するステップと、
を含むコンピュータ実装方法。

【請求項 10】

前記動作状態は、アクティブ前状態、アクティブ状態およびアクティブ後状態を備える、
請求項 9 に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項 11】

前記複数のインタフェース要素をユーザ・インタフェースのアプリケーション・インタフェース表示内に表示するステップは、前記アクティブ前状態の間に発生する、
請求項 10 に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項 12】

前記選択されたインタフェース要素の前記少なくとも 1 つの表示特性を変更する前記ステップは、前記選択されたインタフェース要素のサイズを変更する、
請求項 9 に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項 13】

選択可能なインタフェース要素のサイズは、前記アプリケーション・インタフェース表示内の入力パラメータに適應するために変化する、
請求項 9 に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項 14】

前記選択されたインタフェース要素のサイズの変化を説明するために、未選択のインタフェース要素を位置決めするステップをさらに含む、
請求項 13 に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項 15】

前記少なくとも 1 つの表示特性を変更するとき、前記選択されたインタフェースは、前記ユーザ・インタフェース内の画面を変更しない、
請求項 9 に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項 16】

アプリケーションにおけるアプリケーション・フレームワーク・ワークフローを実装するコンピュータ実装方法において、前記方法は、

焦点を有するインタフェース表示領域および複数のインタフェース要素を有するアプリケーション・ユーザ・インタフェースを提供するステップと、

前記複数のインタフェース要素の各々のための実行状態を定めているワークフロー定義を取得するステップと、
を含み、

前記ワークフロー定義は、少なくとも第 1 のインタフェース要素のために、

前記アプリケーション表示領域内の第 1 のインタフェース要素表示を有するアクティブ前状態を定めるステップであって、前記第 1 のインタフェース要素表示は、アクティブ

前状態表示データを表示するように構成されるステップと、

前記アプリケーション表示領域内の第2のインタフェース要素表示を有するアクティブ状態を定めるステップであって、前記第2のインタフェース要素表示は、入力データを受け取るように構成される少なくとも1つの入力制御を含み、前記インタフェース要素は、変形し、前記アクティブ状態の間、前記少なくとも1つの入力制御を表示するように構成され、前記少なくとも1つの入力制御は、前記アクティブ前状態の間、見えていないステップと、

前記アプリケーション表示領域内の第3のインタフェース要素表示を有するアクティブ後状態を定めるステップであって、前記第3のインタフェース要素表示は、前記アクティブ前状態表示データを修正し、前記アクティブ状態の間、受け取られる前記入力データの少なくとも一部を表示するように構成され、前記入力制御は、前記アクティブ後状態の間、見えていないステップと、

前記複数のインタフェース要素の1つを選択している入力を受け取るステップであって、以前に選択されたインタフェース要素は、前記選択されたインタフェース要素の選択前に第1の入力を受け取ったステップと、

前記ワークフロー定義に従って、前記選択されたインタフェース要素を前記アクティブ状態に移行するステップと、

前記以前に選択されたインタフェース要素から受け取られる前記第1の入力を、前記アプリケーション表示領域内で、前記アプリケーション表示領域内で現在アクティブな前記選択されたインタフェース要素とともに表示するステップと、

前記インタフェース表示領域内の前記焦点の位置に基づいて、前記選択されたインタフェース要素を位置決めするステップと、
を含む方法。

【請求項17】

前記インタフェース要素が前記アクティブ状態の他に移行するとき、選択されたインタフェース要素を前記焦点から非焦点に移行するステップをさらに含む、
請求項16に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項18】

前記選択された要素は、選択される前に、アクティブ前状態またはアクティブ後状態にあった、
請求項16に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項19】

入力データをユーザから受け取るステップと、
前記受け取られた入力データに基づいて、前記アクティブ状態の間、機能を実行するステップと、
をさらに含む、
請求項16に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項20】

アプリケーション・フレームワークにおけるユーザ入力を処理するためのコンピュータ実装方法において、前記方法は、

複数のインタフェース要素を、アプリケーション・インタフェース表示を有するユーザ・インタフェース内に表示するステップであって、前記複数のインタフェース要素の各々は、第1の表示データを表示するステップと、

前記複数のインタフェース要素の1つを選択するための入力を受け取るステップであって、以前に選択されたインタフェース要素は、前記選択されたインタフェース要素の選択前に第1の入力を受け取ったステップと、

前記アプリケーション・インタフェース表示内の焦点の位置に少なくとも部分的に基づき、前記選択されたインタフェース要素を位置決めするステップと、

前記選択されたインタフェース要素のサイズおよび形状を修正し、少なくとも1つの入力制御を表示するステップであって、前記少なくとも1つの入力制御は、前記インタフェ

ース要素が選択されるまで見えていないステップと、

前記選択されたインタフェース要素の位置に少なくとも部分的に基づいて、未選択のインタフェース要素を位置決めするステップと、

前記以前に選択されたインタフェース要素から受け取られる前記第 1 の入力を、前記アプリケーション・インタフェース表示領域内で、前記アプリケーション・インタフェース表示領域内で現在アクティブな前記選択されたインタフェース要素とともに表示するステップと、

前記少なくとも 1 つの入力制御でユーザ入力データを受け取るステップと、

前記ユーザ入力データに基づいて、機能を実行するステップと、

前記機能が実行された後、

前記選択されたインタフェース要素の前記第 1 の表示データを修正し、前記少なくとも 1 つの入力制御により受け取られる前記ユーザ入力データの少なくとも一部を表示するステップと、

前記選択されたインタフェース要素のサイズおよび形状を修正し、前記少なくとも 1 つのユーザ入力制御を隠すステップと、

前記複数のインタフェース要素を再配置するステップと、
を含む方法。

【請求項 2 1】

前記選択された要素は、選択される前、アクティブ前状態またはアクティブ後状態にある、

請求項 2 0 に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項 2 2】

前記選択された要素は、前記機能を実行した後、アクティブ後状態にある、

請求項 2 0 に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項 2 3】

前記機能は、ユーザをアカウントにログインさせることである、

請求項 2 0 に記載のコンピュータ実装方法。

【請求項 2 4】

前記機能は、支払トランザクションを許可することである、

請求項 2 0 に記載のコンピュータ実装方法。